

# 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会 花苗栽培マニュアル

～定植から開花まで セルトレイ（72穴）編～



## 1 苗の植え替えまでに準備しておくこと

セルトレイ苗（72穴）が届くまでに、各学校等で準備をしておいたらよいことを紹介します。

- ・プランターシールに応援メッセージ等を書いて、プランターに貼り付けておきます。（土を入れてからでは貼りにくいため、新しいプランターにシールを貼ります。）
- ・**プランターの縁まで土をいっぱいに入れ、たっぷり水をかけておきます。**（写真①②）  
※土は空気を多く含んでいるため、時間が経てば嵩（かさ）は減ります。（写真③）



## 2 セルトレイ（72穴）での管理

セルトレイ苗（72穴）が届いたら、**できるだけ早くプランターに植え替えて**ください。（苗が届いてから3日以内には植え替えをしてください。）セルトレイのままでの管理期間が長くなると、苗の茎が必要以上に伸びてしまい、プランターへの植え替え後も大きく生長しない（ボリュームがなくなる）ことが予想されます。

もし、セルトレイの状態で保管しなければならない場合は、セルトレイ内の土量が少ないため、**土の表面が乾燥しないように水やりをこまめに行って**ください。また、一日中日差しが当たるような場所を避けて、建物の陰になる場所や西日が当たらない場所で管理してください。

## 3 セルトレイ（72穴）の苗を抜き取る（1人・2人）



1人で行う方法です。

**フォークなどで苗をすくい上げるようにして抜き取り**ます。（ピンセットで抜き取る方法もあります。）その苗の土の部分をお互いの手でやさしく持って抜き取り、トレイ（セルトレイを乗せていたトレイ）の上に並べて置きます。**苗を直接持たない**ように気を付けましょう。（写真④⑤⑧）

2人で行う方法です。

Aが両手でセルトレイを持ちます。Bがセルトレイの**下穴から棒状（割りばし等）のもので苗を押し上げ**ます。Bは、その苗の土の部分をお互いの手でやさしく持って抜き取り、トレイの上に並べて置きます。**苗を直接持たない**ように気を付けましょう。（写真⑥⑦⑧）

【1人】抜き取り（写真④）



（写真⑤）



【2人】抜き取り（写真⑥）



（写真⑦）



【トレイに並べて置く】（写真⑧）



（注意）  
苗を置くトレイは実際の物と形状が異なる場合があります。



#### 4 プランターに植え付け

抜き取った苗を**1プランターにつき4本ずつ**植えていきます。人差し指で苗が入るくらいの穴をあけて植えていきます（写真⑨）。この時、**少し深めに植えると雨風にも強くなり**、生長した時も安定した苗になります（写真⑩）。浅く植えると土からの養分を吸収しにくく貧弱な苗になります（写真⑪）。

植え替えた**苗の根元の土を指で軽く押さえ**て、苗を安定させます。（※押さえすぎに注意してください。）

【穴をあける】（写真⑨）



【深く植える】○（写真⑩）



【浅く植える】×（写真⑪）



## 5 I B化成（固形肥料）、オルトラン粒剤（殺虫剤）を撒く

植え替え終了後の一週間くらいはそのままの状態、水やりのみを行い様子を見てください。順調に生長しているようであれば、I B化成とオルトラン粒剤を株元に撒くようにしてください。

※水やりは、プランターの底からしみ出すまでたっぷりと与えてください。

【I B化成】固形肥料（バーディーラージ）

1プランターにつき **15粒~20粒**程度撒くようにしてください。**肥料は与えすぎると枯れます**が、足りなくてすぐ枯れることはありませんので少量ずつ与えて様子を見てください。

効力は概ね1ヶ月くらいです。日光や水遣りなどでボロボロと崩れてきたり、スカスカになったりするため、様子を見て追肥（追加で肥料を与える）してください。

【オルトラン粒剤】殺虫剤

それぞれの株元に粒が重ならないようにパラパラとまきます。1プランターに**大さじ1杯（約10g）**程度が目安です。

効力は概ね1ヶ月くらいです。効力が切れると害虫が付き始めるので、様子を見て新しい粒剤をまいてください。

## 6 ベニカ×ファインスプレーを散布する

以下の病害虫の発生初期に使用してください。

- アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、ハモグリバエ類、ウドンコ病

＜注意＞

花卉に薬液が飛散するとシミ等の症状が出る恐れがあるので、花にかからないように注意してください。

## 7 水やり

土の表面が乾いたら、プランターの底からしみ出すまで水をたっぷりと与えます。植え替え直後の水やりは特に重要なので、土の乾き具合を見ながら、苗に直接水がかからないように水やりを行います。暑い時期の水やりは、日中に行うと株が蒸れて根腐れするので、朝夕の涼しい時間帯に行います。

＜注意＞

基本は朝に水やりを行います。暑い日の午後以降、土が乾いていたり、葉がしおれていたりする場合は、ホース内に残った熱い水を避けたうえで2回目の水やりを行います。

## 8 手入れ

新芽の部分を摘み取る（摘芯）と、開花は遅れますが、こんもりとしたボリュームのある形になります。苗の半分程度の高さの葉や芽のあるところで切る（切り戻し）と、しばらくすると新芽が伸び、再び開花します。

咲き終わった花や病気になった花を花茎のところで摘み取る（花がら摘み）と、長い期間花を咲かせることができます。

摘芯



切り戻し（前後）



花がら摘み

